

# サヤインゲンの角斑病に対する有効薬剤

福島県農業総合センター 生産環境部 作物保護科

部門名 野菜—サヤインゲン—病害虫防除

担当者 五十嵐秀樹、金丸雄太郎、菅野英二、畑有季

## I 新技術の解説

### 1 要旨

近年、県内のサヤインゲン産地においてインゲンマメ角斑病の蔓延が、収穫量を減少させる要因となっている。これまで、本病の適用農薬がなかったことから、サヤインゲンに登録のある薬剤から防除効果がある薬剤を検討し、アゾキシストロビン水和剤及びベノミル水和剤のインゲンマメ角斑病に対する効果が高いことを明らかにした。

- (1) 2017年及び2018年に、サヤインゲンに登録のある薬剤を用いて、インゲンマメ角斑病に対する防除効果を調査し、その結果、高い防除効果を示した剤を選別することができた。
- (2) 防除効果が高かった剤についてメーカーに対し農薬登録促進を行ったところ、ベノミル水和剤（商品名：ベンレート水和剤）が2019年7月10日に、アゾキシストロビン水和剤（商品名：アミスター20フロアブル）が2019年8月28日に適用拡大登録となった。

### 2 期待される効果

- (1) インゲンマメ角斑病に対して薬剤防除を行うことにより被害を軽減できる。

### 3 適用範囲

- (1) 県内全域

### 4 普及上の留意点

- (1) 各農薬の使用にあたっては当該農薬のラベル及び県の農作物病害虫防除指針の記載事項を必ず確認し、農薬使用基準を遵守すること。

## II 具体的データ等

表1 インゲンマメ角斑病に対する殺菌剤の防除効果

供試薬剤	防除価 (2017.9.21)	防除価 (2018.9.28)
アゾキシストロピン水和剤 (アミスター20フロアブル)	88.3	88.7
ベノミル水和剤 (ベンレート水和剤)	100	95.5

注: 防除価 = (無処理区の発病度 - 試験区の発病度) ÷ 無処理区の発病度 × 100  
防除価が100に近いほど防除効果が高い。



写真 インゲンマメ角斑病

## III その他

### 1 執筆者

五十嵐秀樹

### 2 成果を得た課題名

(1) 研究期間 平成29年度～平成30年度

(2) 研究課題名 新奇・難防除病害虫に対する防除技術の開発

### 3 主な参考文献・資料

(1) なし